

360° 大パノラマ&大自然:「明神山」

「太子の里～へんろ道～悠久の鐘～国分道」

令和元年5月5日(日) 15(10)km

緊急連絡先
070-4461-6430

柏原市



聖徳太子送迎の道「送迎(ひるめ)越え」和州 送迎(ひるめ)大神宮という建物、が有ったらしい。送迎と書いて、ひるめと読んだらしいです。伊勢参りあたり、河内から大和へ入るとき明神山(王寺町の島田)の峠を越えたい。この山は亀の瀬の南側に当たり、この山の中腹を登ると、奈良盆地南端への最短の道となっていた。この山道が送迎(ひるめ)と呼ばれた。

文政13年(1830年)に大規模なおかげ参りが、四国の玄關口阿波から始まって泉州、河内の人々が大和への近道として使われた。この年に、この明神山に白狐のお告げと言うことで天照大神(大日靈女尊(おおひろめのみこと))を勝手に祀った人が居ました。伊勢への河内からのもとの旧路で、それはそれは賑わったとのこと。なこしろ毎日毎日、さ、銭としてカマス四～五杯の銭が集まったという。長い間に疲れて、ここで参拜して帰った人もいたらしいです。郡山藩がこれを不正と問題視して、「これは二つの神宮」として、一年も経たないうちに打ち壊してしまったとのこと。この道は聖徳太子が河内磯長への往還時に、村人が送迎して、ヒルメを食べたことから「ひるめ」と読まれたとの説があり、送迎(ひるめ)地区が現存しているらしいです。また、同じく(雪丸)が太子を送迎のために「ひるめ地区」までついてきたという伝説もあるらしいです。(山頂にある今の神社は、このひるめ神社とは関係ありません)

次回/例会—お誘い合わせのご参加をお待ちしております						
月	日	曜日	コース名	最寄り駅	時間	距離
5	10	金	【奈良を歩こう・10日ウォーク】 古奈良街道を行く 「亀の瀬溪谷・地滑り地帯」	JR-大和路線 王寺駅	10:00	10
5	18	土	新緑の里山:北生駒～ほした園地へ スリルと感動・「星のプランコ」	近鉄・けいはんな線 白庭台駅	9:45	12
6	7	金	壮大な花と緑・「山田池公園」 「花しょうぶ・あじさい」満喫	JR・学研都市線 松井山手駅	9:45	13



達磨寺
聖徳太子と達磨大師の出会いから始まった達磨寺には、今も本堂の下に達磨寺3号墳とよばれる古墳時代後期の円墳があります。これが、聖徳太子が人々のためにつくったお墓すなわち達磨大師の墓とされ、鎌倉時代にその上に本堂が建てられて、本尊として堂内に聖徳太子像と達磨大師像が安置されました。

尼寺廃寺跡史跡公園
古くから尼寺の集落内では古瓦が表振されることが知られており、北は尼寺北廃寺、南は尼寺南廃寺と呼ばれていました。このうち、尼寺北廃寺は発掘調査によって7世紀後半に造営された、北に金堂、南に塔を配置し、それを回廊で囲んだ東に中門を設けた、東面する法隆寺式伽藍配置であったことがわかりました。現存するものとしては全国最大の塔心礎とともに、耳環などの舍利荘厳具(市指定文化財)もみつかりました。周辺には平野古墳群や平野築跡群もあり、7世紀代の古墳と寺院、聖跡が近接して存在する貴重な地域です。そのため、古代における葛城地域の様相を考える上で重要な寺院として位置づけられています。《国指定史跡》



明神山々頂 悠久の鐘

昼食場所・明神山々頂



中間ゴール・王寺駅方面



尼寺廃寺跡

昼食場所までの最後のコンビニ



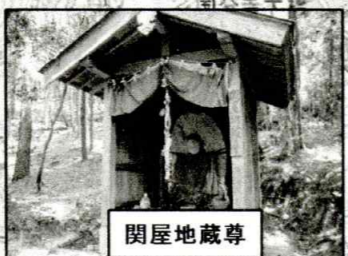
へんろ道



ゴール・高井田駅



スーパーマルヒ



関屋地蔵尊



十三重塔



近隣駅・河内国分駅

ぶどう畑



《傷害保険の適用範囲 及び ご注意について》
万一、当会行事参加中に事故が発生した場合は、当会加入傷害保険の補償範囲外(例えば、心筋梗塞、急性心不全、脳内出血、熱中症、脱水症等の疾病及び地震・津波等天災による傷害等)の責任は負えません。

- ウォーキングマナー5ヶ条
1. やあ！お早よう 明るい挨拶 さわやかに
 2. 信号で、あわてず、あせらず、待つ余裕
 3. 広がるな、参加者だけの道じゃない
 4. 自分ごみ、自分の責任 持ち帰り
 5. 歩かせて、いただく土地に 感謝して (社)日本ウォーキング協会

新規会員募集中

楽しく 健やかに 歩こう

大和ウォーキング協会

〒631-0014
奈良県奈良市朝日町2-20-1
TEL/FAX 0742-41-1628
<https://yamatawalk.jimdo.com/>